

証券コード：7226

極東開発工業株式会社



IR REPORT

第85期 期末決算のご報告

2019年4月1日～2020年3月31日





トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて私こと、2020年6月25日をもちまして、極東開発工業株式会社の取締役社長に就任いたしました。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

もとより微力非才の身ではございますが、今後はより一層、社業の発展のため職務に全力を尽くし、皆様のご期待に添えるよう努力いたす所存でございますので、なにとぞ前任者同様、格別の御指導御鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2020年6月 取締役社長 **布原達也**

■ 2020年3月期の概況

当連結会計年度における我が国経済は、前半は全体として底堅く推移いたしました。後半は消費増税や米中貿易摩擦などの影響もあり足踏みも見られました。年度末にかけては新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による景気の急速な悪化が懸念され、先行きが見通せない状況となりました。

このような状況下、当社グループは新中期経営計画(3力年計画)2019-21 ~To the Growth Cycle~ (2019年4月1日~2022年3月31日)の初年度として、企業品質の向上と社会的価値の深化を目指して諸施策を実行しました。

この結果、当連結会計年度の業績は前連結会計年度と比較して、売上高は5,872百万円(5.1%)増加して120,173百万



円となりました。営業利益は60百万円(0.7%)減少して8,493百万円、経常利益は142百万円(1.6%)減少して8,675百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は211百万円(3.4%)減少して6,073百万円となりました。

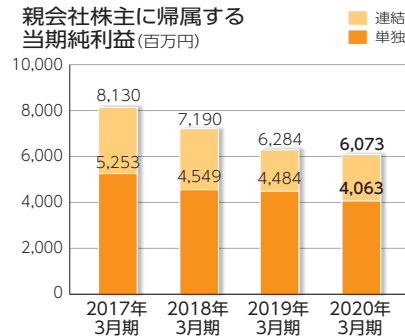
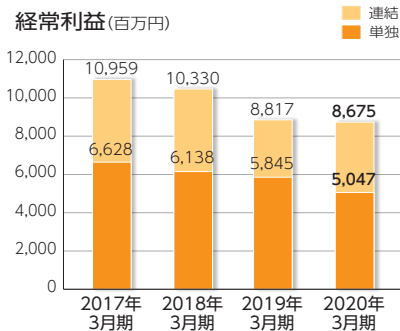
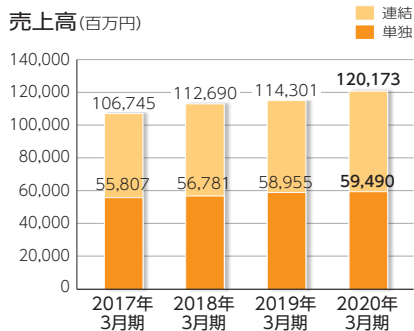
■ 今後の見通し

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響が見込まれ、厳しい環境で推移することが想定されます。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画 2019-21 ～To the Growth Cycle～ (2019年4月1日～2022年3月31日) に掲げた以下の基本方針のもとで重点戦略を推進し、売上・利益の確保及び企業価値の一層の向上に向けてグループ一丸となって取り組んでおりますが、現下及び今後の動向を注視し、必要に応じて方針の修正等を検討・実施するなど、柔軟に対処してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

■ 業績ハイライト



積載量と走行安定性が大幅に向上!

新型「土砂ダンプトレーラ (リンク式・GVW36t)」を発売



土砂ダンプトレーラ (リンク式・GVW36t)

積載量と走行安定性を大幅に向上させた新型「土砂ダンプトレーラ (リンク式・GVW36t)」を開発し、2020年5月29日より発売しました。

新機種は、耐摩耗鋼板 (HARDOX) を採用した曲げ構造のボデー形状により大幅な軽量化を実現し、積載量を現行機種(※)比で1,400kg増加させたほか、強度を保ちながらもスチフナ (補強柱) レスとするなど、美観に溶け込むすっきりかつシンプルなデザインとしました。

また、グループ会社である日本トレクス株式会社と共同開発した、専用の段付トレーラ台車と段付フレーム構造による同比△100mmの低床化で、走行安定性も大幅に向上させました。

(※) 土砂ダンプトレーラ (リンク式・GVW36t・角底仕様)

そのCP、唯一無二。最長にして最強の大型スウィーズ式コンクリートポンプ車!

新型コンクリートポンプ車 「Hyper CP」 スウィーズクリート® PH80A-26C」を発売

スウィーズ式コンクリートポンプ車で国内唯一の大型車で、国内最長・最強スペック※1となる26m級のブームを搭載した「Hyper CP」 スウィーズクリート PH80A-26C」(CP=Concrete Pump)を開発し、2019年10月15日より発売しました。

新機種は、機動性の高いGVW16トン級(積載8トン車級)の大型ショートホイールベースシャシに、26m級ブームと、実用域での圧送能力を従来機※2)に比べ約17%向上させたポンプユニットを搭載した大型スウィーズクリートです。

「残留コンクリートゼロ+低騒音」といったスウィーズ式の特長である環境性能と、機動力を兼ね備えた、コンクリートポンプ車の国内トップメーカーである当社のノウハウを活かした唯一無二の、まさにハイパーな1台です。

(※1) スウィーズ式コンクリートポンプ車として。当社調べ。

(※2) 従来機種:スウィーズクリート PH80-26B



“Hyper CP” スウィーズクリート PH80A-26C

木質チップの乾燥・輸送・荷役作業に対応するトータルシステムで、効率的な作業を実現!

木質チップ乾燥コンテナシステム「Kantainer」を発売

木質チップ乾燥コンテナシステム「Kantainer」を開発し、2020年2月26日より発売しました。

木質チップは近年バイオマス燃料として注目されており、その原料として森林保全のための間伐材が利用されることが増えていますが、間伐材は水分を多く含んでおり、燃料として利用するためには乾燥作業が必要です。

新製品は、シンプルかつ簡単な操作で木質チップの乾燥を行うことができるほか、脱着ボデー車「フックロール®」への搭載が可能で、乾燥前後の輸送・荷役作業にも対応しています。

高効率な作業を実現し、高品質な木質チップの製造をサポートする、当社独自のトータルシステムの完成です。

特徴

1. 高い乾燥効率を実現
2. 簡単操作で作業効率がアップ
3. フックロールとの組み合わせで乾燥・輸送・荷役の4役に対応したトータルシステム
4. 重量・温度の自動監視システムで作業状況の確認が可能



木質チップ乾燥コンテナシステム「Kantainer」

国内外の社会インフラの構築・維持管理に貢献

北陸重機工業製ディーゼル機関車をコンゴ民主共和国に納入



納入されたディーゼル機関車

グループ会社である北陸重機工業株式会社は2020年2月13日にコンゴ民主共和国にてディーゼル機関車を納入しました。

同国キンシャサ中央駅で開かれた納車式では、ディディエ・マゼンガ・ムカンズ運輸通信大臣をはじめ多数の同国政府関係者や日本大使館関係者他が出席されました。

今回納入されたディーゼル機関車は、全長15m、重量72t、1,400馬力エンジン搭載の大型機関車で、日本政府とコンゴ民主共和国政府間でのODA供与合意に基づき、同国の運輸港湾公社(SCTP)へ供給され、今後は首都キンシャサから港町であるマタディ間の355kmで客車を牽引する車両として使用されます。

ディディエ・マゼンガ大臣は式典で、今回の協力が同国の交通問題を解消していくための希望の光となると語られました。

バイオガスプラント事業を強化

岡山市でバイオマス発電施設 建設工事を受注

当社は、2015年5月よりバイオガスプラント事業に参入し、2016年11月には、畜産系排水処理技術に豊富な経験を有する株式会社モリプラントの全株式を取得してグループ化(完全子会社化)するなど、バイオガス関連事業を展開しております。

DOWAグループのバイオディーゼル岡山株式会社様より、食品廃棄物を原料とするバイオマス発電施設の建設工事を受注いたしました。

今回受注いたしましたバイオディーゼル岡山株式会社様のバイオマス発電施設建設工事により、更なる技術とノウハウの蓄積を行い、引き続き本事業の強化を図ってまいります。

極東開発グループでは、今後とも環境事業を通じて循環型社会の形成に貢献してまいります。

バイオディーゼル岡山株式会社様
バイオマス発電施設 外観イメージ

概 要	事業内容	バイオマス発電 (食品廃棄物を原料とし、 そのメタン発酵で生じるガスを利用)
	施設の設置場所	岡山県岡山市南区築港栄町7番49
	敷地面積	8,900m ²
	食品廃棄物の 処理能力	45t/日
	発電容量	910kW
	操業開始時期	2021年4月(予定)



グループの経営資源の集中と業務の効率化を図る

中古車の整備と販売の拡大のため連結子会社2社を合併

当社グループ主力の特装車事業において、ストックビジネスを担当する連結子会社として、特装車の修理・部品販売等を行う株式会社エフ・イ・テックと中古車の販売等を行う株式会社FE-ONEがありました。

当社は、連結子会社である株式会社エフ・イ・テックを、同じく連結子会社である株式会社FE-ONEを存続会社として2020年4月1日付で吸収合併を行いました。

本合併により、グループの経営資源の集中と業務の効率化を図ると共に、当社グループにおける特装車のストックビジネスを担当するサブブランドとしての位置付けと役割を強化し、



当社グループとの連携を拡大してまいります。

今後、旧株式会社エフ・イ・テックの全国拠点での中古車の整備と販売の拡大を図り、修理及び中古車の多様なニーズに対応してまいります。

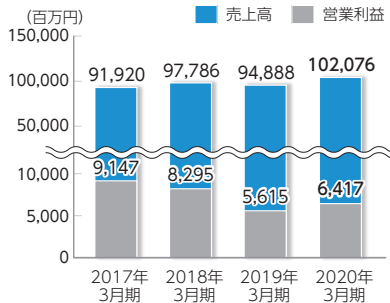
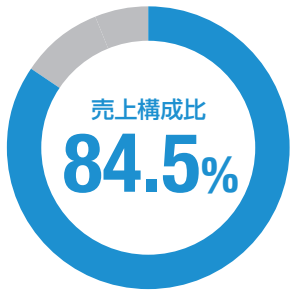
なお、本合併後の子会社の商号は、株式会社エフ・イ・オートとなります。

合併後の状況

商号	株式会社エフ・イ・オート
所在地	兵庫県西宮市甲子園口六丁目1番45号
代表者	代表取締役社長 米田 卓
主な事業内容	特殊自動車の製造、販売及び修理、中古車販売
決算期	3月31日
資本金	90百万円
株主構成	極東開発工業株式会社 100%

■ セグメント別概況

[特装車事業]



国内需要が底堅く推移する中、積極的に受注を確保すると共に、連結子会社の日本トレクス御津工場におけるスワップボデー車や、当社名古屋工場新パワーゲートセンターにおける後部格納式テールゲートリフタ「パワーゲート® GⅡ1000 / GⅢ1000」の生産強化など、生産体制の合理化及び効率化にも努めました。

新製品としては、2019年10月に2t車級回転板式ごみ収集車「パックマン® チルト」のフルモデルチェンジをはじめ、同月にスイーズ式コンク



「パックマンチルト」



後部格納式テールゲートリフタ
「パワーゲートGⅡ1000 / GⅢ1000」

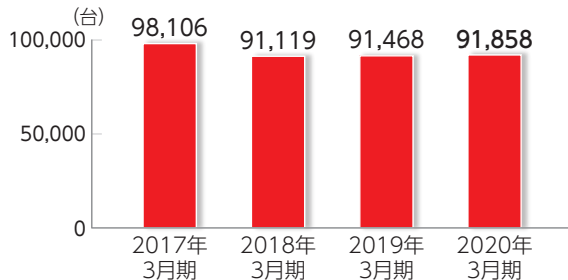
リートポンプ車として国内最長・最強スペックとなる「“Hyper CP” スクイズクリート® PH80A-26C」を、2020年2月に木質チップ乾燥コンテナシステム「Kantainer」を発売するなど、商品力と新分野のラインナップ強化を図りました。

なお、タイ王国における当社特定子会社のTrex Thairung Co., Ltd.について、当社及び当社連結子会社である日本トレス株式会社保有する全株式を2019年7月30日付で現地

合弁先であるTHAI RUNG UNION CAR PUBLIC CO., LTD.に譲渡いたしました。今後は技術支援を行うことによりタイビジネスの継続を図るほか、今回の事業再編に伴い経営資源をより投資効果の高い分野に投入してまいります。

当セグメントの売上高は7,187百万円（7.6%）増加して102,076百万円となりました。営業利益は802百万円（14.3%）増加して6,417百万円となりました。

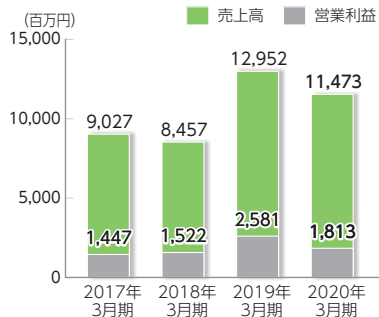
■ 国内普通トラック登録台数の推移



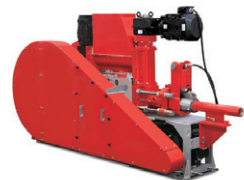
新型コンクリートポンプ車
「“Hyper CP” スクイズクリートPH80A-26C」

■ セグメント別概況

[環境事業]



津市リサイクルセンター (三重県)



突き押し式
成形機

プラント建設では、宮城県の大崎地域広域行政事務組合様より受注したリサイクルセンターが2019年6月に完成したほか、茨城県水戸市様より受注した新清掃工場と、長崎県佐世保市様より受注したクリーンセンターが2020年3月にそれぞれ完成しました。

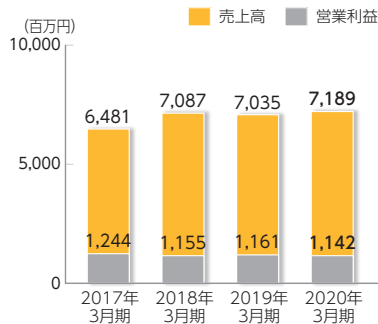
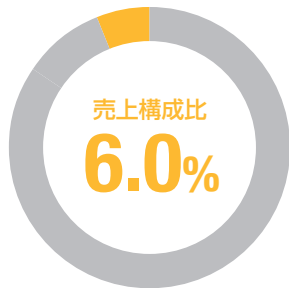
バイオガスプラント事業は、新規受注活動の結果、DOWAグループのバイオディーゼル岡山株式会社様より岡山市におい

てバイオマス発電施設建設工事を受注しました。

また、メンテナンス・運転受託などのストックビジネスにも引き続き注力しました。

当セグメントの売上高は1,479百万円(11.4%)減少して11,473百万円となりました。営業利益は767百万円(29.7%)減少して1,813百万円となりました。

[不動産賃貸等事業]



立体駐車装置
(レントウパズル® HS-22)



立体駐車装置
(地下パーク 3N)

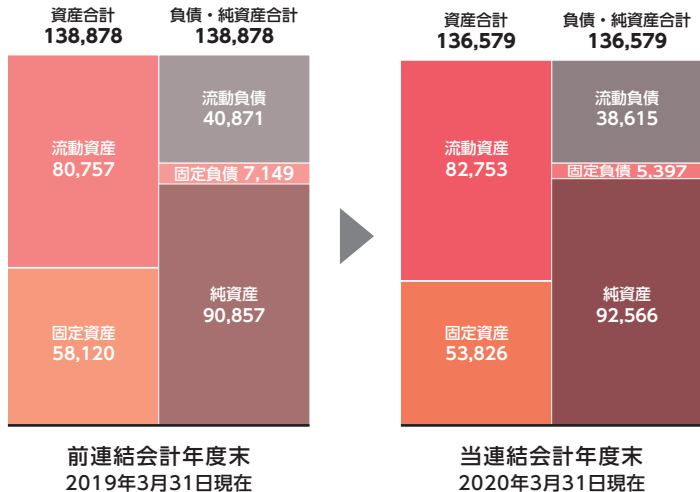
立体駐車装置は新規物件の受注活動と共に、リニューアル及びメンテナンス等のストックビジネスの受注確保に努めました。コインパーキングは引き続き採算性を重視した事業地展開を進め、新たに京都府木津川市様より受注した市営駐車場6か所の

運営を開始しました。

当セグメントの売上高は153百万円 (2.2%) 増加して7,189百万円となりました。営業利益は18百万円 (1.6%) 減少して1,142百万円となりました。

■ 連結財務データ (日本基準)

連結貸借対照表の概要 (百万円)



..... ポイント解説

当連結会計年度末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は2,298百万円(1.7%)減少して136,579百万円となりました。

流動資産につきましては、有価証券の増加等により1,995百万円(2.5%)増加して82,753百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の時価の下落等により4,294百万円(7.4%)減少して53,826百万円となりました。

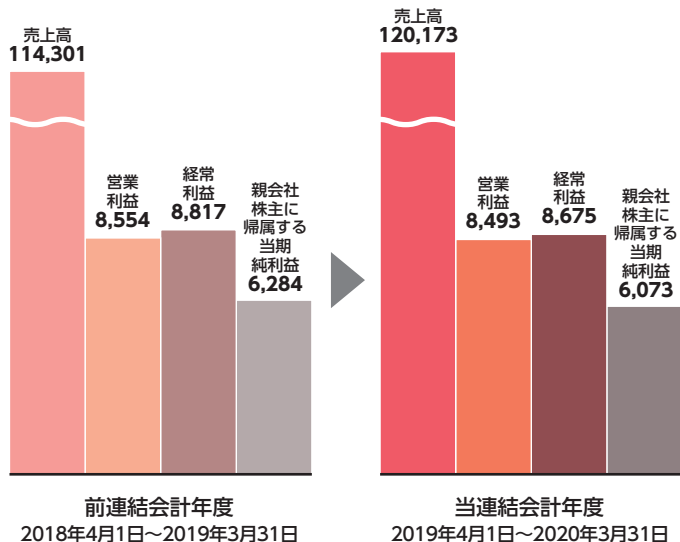
負債につきましては、流動負債は支払手形及び買掛金の減少や短期借入金の返済等により2,256百万円(5.5%)減少して38,615百万円、固定負債は繰延税金負債の減少等により1,751百万円(24.5%)減少して5,397百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したこと等により、1,709百万円(1.9%)増加して92,566百万円となりました。

なお、当連結会計年度末現在の自己資本比率は67.5%(前連結会計年度末64.9%)となりました。

.....

連結損益計算書の概要 (百万円)



..... ポイント解説

当社グループは新中期経営計画（3カ年計画）2019-21 ～To the Growth Cycle～（2019年4月1日～2022年3月31日）の初年度として、企業品質の向上と社会的価値の深化を目指して諸施策を実行しました。

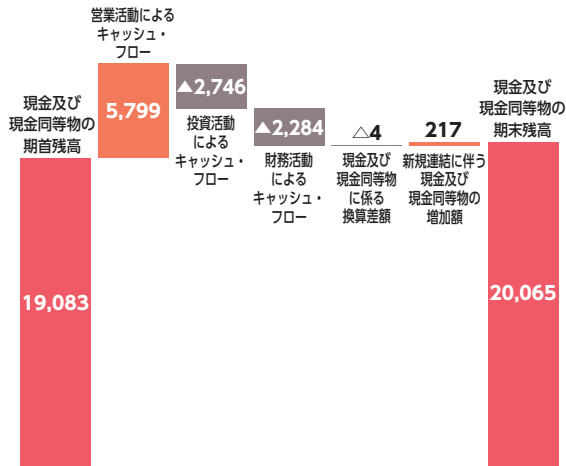
これにより連結ベースで売上高120,173百万円、営業利益8,493百万円、経常利益8,675百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,073百万円となりました。

今後とも当社グループでは更なる業績の拡大に向けて引き続き諸施策に取り組んでまいります。

.....

■ 連結財務データ (日本基準)

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



当連結会計年度
2019年4月1日～2020年3月31日

ポイント解説

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて981百万円(5.1%)増加して、20,065百万円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金収支は、5,799百万円(前年同期比+1,769百万円)となりました。これは税金等調整前当期純利益の計上等によるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金収支は、△2,746百万円(前年同期比+483百万円)となりました。これは固定資産の取得等によるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金収支は、△2,284百万円(前年同期比+772百万円)となりました。これは配当金の支払及び長期借入金の返済等によるものです。

利益還元について

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化を図りながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。

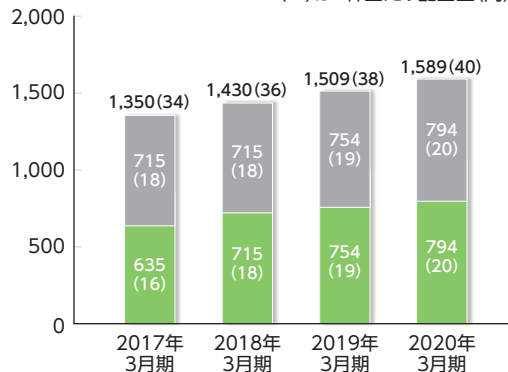
配当について

2020年3月期の期末配当金につきましては、計画通り1株当たり20円とさせていただきます。

これにより、中間配当金を含めました年間配当金は、前期より1株当たり2円増配の40円となります。

配当総額の推移

■ 中間配当総額 ■ 期末配当総額 (百万円)
※ ()は1株当たり配当金(円)



■ 企業データ

【会社概要】 (2020年3月31日現在)

商号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設立	1955年6月1日
資本金	11,899,867,400円
従業員数	連結2,883名 単独1,072名

【役員】 (2020年6月25日現在)

代表取締役会長	高橋和也
代表取締役社長 社長執行役員	布原達也
取締役 常務執行役員	則光健男
取締役 執行役員	堀本昇彦
取締役 執行役員	原田一彦
取締役 執行役員	加藤定宣
社外取締役	木戸洋二

社外取締役	道上明
常勤監査役	杉本治己
監査役	越智聡一郎
社外監査役	乗鞍良彦
社外監査役	藤原邦晃
常務執行役員	中島光彦
執行役員	櫻井晃
執行役員	細澤幸広
執行役員	木津輝幸
執行役員	高濱晋一
執行役員	吉田豊
執行役員	牛尾昌史
執行役員	千々岩伸佐久

■ 株式データ (2020年3月31日現在)

[株式の状況]

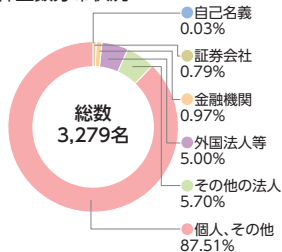
発行可能株式総数 170,950,672株
 発行済株式総数 42,737,668株
 株主数 3,279名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,691	6.77
株式会社三井住友銀行	1,600	4.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,547	3.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.77
極東開発共栄会	1,318	3.31
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.55
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	904	2.28
宮原 幾男	814	2.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	765	1.93
株式会社奥村組	761	1.92

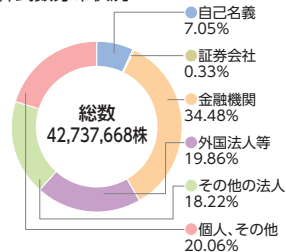
(注) 持株比率は、当社が保有する自己株式(3,011千株)を控除して計算しております。

[株式分布状況]

株主数分布状況



株式数分布状況



[株価・売買高の推移]



※ 株価は月末の終値を示しています。

[株主メモ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (http://www.kyokuto.com/)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.

<ご注意>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 総務部

TEL:0798-66-1000

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:soumu@kyokuto.com

社名・商品名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。

